

スカウト おおいた

第43号

2015年10月31日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会



『23WSJを振り返って』

1007隊 隊長 真田康広

合同隊：USA33)との交流会を共催することができ、スカウトらにとって貴重な国際交流の機会となりました。

会場入りから7日目になるフードフェスティバルでは、派遣隊としての事前訓練の成果が発揮され段取りよく準備ができ、ライスボール(おにぎり)約200食と抹茶約100杯を海外スカウトへ振る舞うことで自ら交流することが出来ました。スカウト達が最も輝いていた気がします。

サイト生活では、海外スカウトを意識せず、あたりまえのように一日々日の活動を共有している時間の流れを、それぞれに各自が感じ取っていた23WSJだったのではないかと喜ばしく思います。

なお、期間中に大分からの見学団の皆さまから氷や生野菜をはじめ沢山の陣中見舞いをありがたく頂戴し、スカウトの体調管理に役立たせていただきました。さらに、事前訓練より多くの関係団指導者、保護者の方に支援をいただきました。とりわけ第1回(いまいち山荘)、第2回(沢水キャンプ場)及び第3回(豊前禅道場)における食事の配給・給食面では全面的な協力があり、お陰で隊運営に集中することが出来ました。改めまして心から感謝申し上げます。

禅語に『神頭滅却(しんとうめっきやく)すれば火、自(おのづか)ら涼し。』とありますが、今回のWSJを一言で表せば『暑し!』でしょうか。熱中症対策(体温を下げる)として派遣隊内での水の配給体制を整え、毎日10個程の角氷を場内スーパーから調達しての対応でした(氷を割るアイスピックを初めて使ったスカウトがほとんどでした)。猛暑が続いた影響もあり、前半は軽度ですが熱中症の症状を呈するスカウトが日替わりでみられ中央救護所での治療が続き、隊指導者にはご苦労いただきました。隊長としての反省でもあり、また少し苦言となりますが、野営生活における就寝時を含めた体調管理は云うまでもなく基本であり、自己管理がまさに「ちかい」と「おきて」の実践そのものです。幸い広島ピースプログラムを含む場外・場内プログラムにはほとんどのスカウトが参加し、多くの体験・交流などを楽しみました。また、海外スカウト隊(イングランド隊; UK027、米国極東スカウト

派遣隊結団式

戸高理事長より真田隊長へ
団旗が手渡されました



事前訓練

第23回ワールドジャンボリーに備え、大分県連盟にて事前訓練が行われました。

第1回はいまいち山荘にて4月4日～5日に1泊2日で、第2回は久住沢水キャンプ場にて5月3日～5日に2泊3日で実施。

第一回



第一回事前訓練開所式

第二回



雨の中での開所式、そして設営となりましたが



2日目からは天気にも恵まれ、訓練もしっかりと出来、かなり成長できました！

副長を中心にグリーンバー会議



初顔合わせの班長会議

班会議を隊長が視察



皆で頑張った結果

だいぶ形になりました



23WSJへ出発



早朝、大分駅府内中央口のバス駐車場へは、大きなリュックを担いだスカウトが次々と集合。

たくさんの方々のお見送りを受けながら、大分県連盟派遣隊は出発していきました。



12泊13日という、いままでに経験したことのないようなキャンプ生活と、素晴らしいワールドワイドな体験を思いっきり楽しんでください。



そして到着

7時に大分を出発して、ちょうどお昼に到着。



早速設営敷材を受け取り、サイト設営開始！



まだまだ初日、ムリをしないで頑張り！！

第23回 世界スカウトジャンボリー 開幕



23WSJに参加して、一番印象に残ったことは、広島ピースプログラムで原爆ドームに行ったことだ。祈念式典前でテントを張るなど準備が進んでいた。

スコットランドの人と同じバスで共に訪れたが、本当にみんなが平和を願えばもっと違う世界になるだろうと思った。世界中のスカウトが23WSJの楽しさと広島や長崎の悲惨な出来事を伝えれば、きっと世界は変わると思った。

また、今回参加して真田隊長や裾本副長に全体をまとめることの大切さを教わった。やっぱり普段より高橋隊長に指導されているとおりでた。

たくさんの方々に感謝の気持ちで暑い夏を終えることができた。

別府9団 久保田 智大





プログラム「フィールドフェスティバル」の準備で色とりどりのライスボールを準備。



お味はいかがでしょう？



また、大分から見学対も続々と到着。



派遣隊帰県報告会



ホームステイ歓迎式典



記念品の交換



アトラクションの津久見扇子踊りを披露



ホームステイ先の家族と対面
お互いドキドキです



UK隊別府市表敬訪問

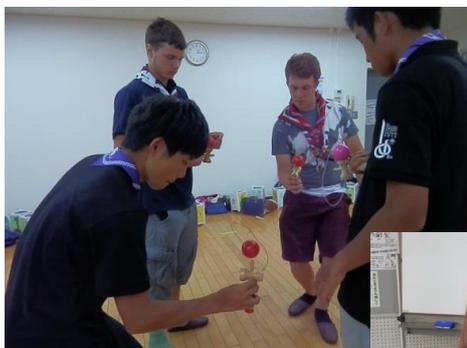


大分へホームステイしたUK隊の本拠地である英国サマセット州バース市と別府市が姉妹都市であることから、表敬訪問を行いました。



ホームステイの様子

受け入れ先の各団での歓迎会や、各家庭での歓迎の様子です。



我が家にはマカオから女の子が二人やって来ました。七夕祭り見物をして、飛び入りでチキリン囃子に参加したりもしました。夕食にはお寿司が食べたいというリクエストでしたので、近所の回転寿司にみんなで行きました。彼女たちのおかげで私達家族もとても楽しい3日間を過ごすことができました。7歳の息子はお姉ちゃんたちに少し照れていたようですが、弟のようにとても可愛がってもらっていました。

大分第1回 壁村



我が家にはマカオから
かわいい女子が2人、
来てくれました。

ショッピング好きということなので街中を案内。ちょうど七夕まつり期間中だったのでアーケド”に飾られた通りを歩きキョロキョロ見渡しては「台湾みたい!!」とおおはしゃぎしていました。

ジャンボリーのときに親しくなった男子達(マカオ)を家に招待して一緒に花火大会にも出掛けました。

その男子達を受け入れた、村上さんのご厚意でゆかたを着ることもできました。大満足の様子でした。

部屋の中では、息子(ボーイ隊)1人 VS と男子達3人(マカオ)オセロ対決。素敵なお思い出ができました。

大分第1回 幸

初めてホームステイを経験しました、不安でしたが4日間とても楽しく過ごせました。団での交流会や大分花火大会、久住、飯田高原、阿蘇と自然体験をしました。最終日はホームパーティーで盛り上がりました。

家族やスカウトも、夏の良い思い出になったと思います。

大分第5回 工藤



我が家ではイギリス隊より2名を受け入れしました。挨拶やお礼、お箸の使い方など私たちが思っていた以上に日本の事について勉強をしていたのに関心しました。英語が解らない私たちに、わかり易くイギリスでの事などを話してくれてとても嬉しかったです。

由布第2回 小田